



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年5月14日

上場会社名 WDBココ株式会社

上場取引所

東

コード番号 7079

URL <https://www.wdbcoco.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷口 晴彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 藤原 素行

(TEL) 03-5144-2250

定時株主総会開催予定日 2024年6月21日

配当支払開始予定日

2024年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,595	12.9	1,272	17.2	1,273	17.0	857	15.4
2023年3月期	4,070	12.6	1,085	12.7	1,087	12.9	743	14.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	356.90	356.47	26.9	30.6	27.7
2023年3月期	311.24	309.31	30.0	32.0	26.7

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	4,658	3,563	76.5	1,481.82
2023年3月期	3,660	2,802	76.6	1,166.91

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,563百万円 2023年3月期 2,802百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	772	△91	△110	2,658
2023年3月期	517	△302	△101	2,001

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2023年3月期	—	0.00	—	41.0	41.0	98	13.2	4.0
2024年3月期	—	0.00	—	75.0	75.0	180	21.0	10.1
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	80.0	80.0		27.4	

(注) 1 当社は、定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日として定めておりますが、当事業年度においては期末配当のみとなります。

2 2024年3月期配当については2024年3月31日を基準日とし、2024年6月24日を効力発生日とします。

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,011	9.0	1,050	△17.5	1,050	△17.5	703	△18.0	292.32

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	2,405,000 株	2023年3月期	2,402,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期	121 株	2023年3月期	121 株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	2,403,543 株	2023年3月期	2,389,230 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(4) 今後の見通し」を御覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
製造原価明細書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

医薬品開発にあたっては、10年以上の年月と数百億円～数千億円の多額の費用がかかります。また、技術革新によって従来の低分子化合物からバイオ医薬品、遺伝子治療薬など治療手段の多様化・複雑化が進むことで創薬のハードルが高まっており、新薬開発の成功確率は約2万3千分の1にまで低下をしています。このため、製薬企業は、医薬品の製造販売の承認を受け上市してから特許の有効期間が切れるまでの間に、投資した多額の研究開発費を効率よく回収することが求められています。

製薬企業は、臨床現場における安全性に関する情報を収集することで医薬品の適正使用の促進に取り組み、製造販売後に様々な調査や試験を実施することで、有効性・安全性がより高い医薬品に改良するとともに、適応の追加や剤型の変更などによって新たな特許を取得しています。また、医師が行う臨床研究に協力することで、上市した医薬品を用いた新たな治療法の創出や、既存の治療法における有効性の証明といった育薬活動を行っています。製薬企業においては、これらの製造販売後の育薬活動の成果の最大化を図るとともに、医薬品の開発から育薬までの業務プロセスの効率を高めて研究開発のコストを最小化することで、医薬品の価値を最大化することが重要となっています。

このような状況の中、当社は「仕事の成果の保証」と「新しい価値の提供」を通じて、お客様の課題を解決し医療の未来に貢献することを経営理念とし、最新のテクノロジーと優れたビジネスモデルを用いて、顧客に最適な業務プロセスを提案・実施する製薬企業にとって不可欠なパートナーとして、臨床試験・製造販売後の段階で実施される「安全性情報管理サービス」を軸に、製造販売後に実施される「製造販売後調査支援サービス」、「ドキュメントサポートサービス」、「臨床研究支援サービス」を展開しております。

当事業年度においては、安全性情報管理、ドキュメントサポート、製造販売後調査支援の各サービスにおいて稼働を開始した複数の新規顧客からの受託案件、既存顧客からの追加受託案件のほか、2023年6月15日付けで吸収合併したWDB臨床研究株式会社における臨床研究サービスの売上が寄与しました。また、各既存案件においては、利益率改善の取り組みとして業務効率向上の取り組みを強化しました。

この結果、売上高は4,595百万円と前年同期比525百万円(12.9%増)の増収となりました。また、営業利益は1,272百万円と前年同期比187百万円(17.2%増)の増益、経常利益は1,273百万円と前年同期比185百万円(17.0%増)の増益、当期純利益は857百万円と前年同期比114百万円(15.4%増)の増益となりました。当社が重視している売上高経常利益率は27.7%(前年同期比1.0pt増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当事業年度における流動資産は4,060百万円と前事業年度末と比べ1,012百万円(33.2%増)の増加となりました。これは主に、現金及び預金656百万円の増加、売掛金及び契約資産247百万円の増加によるものです。

(固定資産)

当事業年度における固定資産は598百万円と前事業年度末と比べ14百万円(2.4%減)の減少となりました。これは主に、WDB臨床研究株式会社の吸収合併による関係会社株式237百万円の減少とのれん等の増加による無形固定資産208百万円の増加によるものです。

(流動負債)

当事業年度における流動負債は928百万円と前事業年度末と比べ209百万円(29.1%増)の増加となりました。これは主に、未払金14百万円の減少、未払法人税等66百万円の増加、預り金162百万円の増加によるものです。

(固定負債)

当事業年度における固定負債は166百万円と前事業年度末と比べ27百万円(19.9%増)の増加となりました。これは主に、退職給付引当金20百万円の増加によるものです。

(純資産)

当事業年度における純資産は3,563百万円と前事業年度末と比べ760百万円(27.1%増)の増加となりました。これは繰越利益剰余金759百万円の増加によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、売上が好調に推移したことなどにより、2,658百万円(前事業年度末比656百万円増加)となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動による資金の増加は、772百万円となりました。これは、主に税引前当期純利益1,272百万円、売上債権の増加額212百万円および法人税等の支払いによる354百万円等の資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動による資金の減少は、91百万円となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出68百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動による資金の減少は、110百万円となりました。これは、主に配当金の支払いによる支出98百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2024年3月期は、前年同期比で売上高は525百万円(12.9%)の増収、営業利益は187百万円(17.2%)の増益、経常利益は185百万円(17.0%)の増益、売上高経常利益率は1.0pt増の27.7%となりました。中長期的な付加価値向上を促進するため、2025年3月期においては、CROサービスにおいて「独自の人材の調達と戦力化の仕組みと業務プロセスの刷新によって、高品質・低価格のサービスを提供する」という、当社のビジネスモデルの強化を加速させる施策と投資を先行的に実施することで、サービスレベルを競合他社がさらに追従できない水準に高めていきます。これによって、医薬品の開発から育薬までの顧客の業務プロセスの効率化に一層貢献してまいります。

具体的には、サービスの提供においては、契約ごとに異なる業務手順に対する標準化の実施と、品質のモニタリングを推進することによって業務品質の向上を図ります。また、RPAや当社で開発するプラットフォームを導入することによって業務効率の改善を進め、サービス競争力をさらに強化いたします。これらの取り組みを通じて、既存顧客からの追加案件と新規顧客からの受託案件の受注の拡大を見込んでおります。また、受注の拡大に必要な人員の確保のため、給与水準の見直しを図ることによって、優秀な社員の定着と採用を進めます。

これらの取り組みを鑑みて、2025年3月期の次期の業績については、売上高5,011百万円、営業利益1,050百万円、経常利益1,050百万円、当期純利益703百万円を見込んでいます。

※業績予想の適切な利用に関する説明

将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,001,899	2,658,578
売掛金及び契約資産	1,023,925	1,271,035
仕掛品	1,645	1,950
前払費用	18,744	33,905
未収入金	28	93,305
その他	1,539	1,536
流動資産合計	3,047,782	4,060,312
固定資産		
有形固定資産		
建物	96,054	111,336
減価償却累計額	△22,139	△31,992
建物(純額)	73,914	79,343
工具、器具及び備品	60,473	71,280
減価償却累計額	△25,080	△39,014
工具、器具及び備品(純額)	35,393	32,265
リース資産	45,438	52,222
減価償却累計額	△23,446	△27,680
リース資産(純額)	21,992	24,541
有形固定資産合計	131,300	136,150
無形固定資産		
のれん	—	133,900
ソフトウェア	245	522
ソフトウェア仮勘定	30,400	104,713
無形固定資産合計	30,645	239,136
投資その他の資産		
関係会社株式	237,750	—
繰延税金資産	119,764	124,973
敷金	93,684	98,274
投資その他の資産合計	451,198	223,248
固定資産合計	613,144	598,535
資産合計	3,660,927	4,658,848

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,679	76,944
リース債務	11,293	13,238
未払金	155,617	147,549
未払費用	49,907	46,003
未払法人税等	194,347	261,032
未払消費税等	113,187	91,686
預り金	8,834	171,237
賞与引当金	106,406	117,992
受注損失引当金	2,678	2,839
その他	163	77
流動負債合計	719,116	928,600
固定負債		
リース債務	13,028	13,886
退職給付引当金	88,519	109,055
資産除去債務	34,964	38,741
その他	2,514	4,956
固定負債合計	139,026	166,640
負債合計	858,142	1,095,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,248	279,983
資本剰余金		
資本準備金	279,248	279,983
資本剰余金合計	279,248	279,983
利益剰余金		
利益準備金	12,500	12,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,232,256	2,991,608
利益剰余金合計	2,244,756	3,004,108
自己株式	△467	△467
株主資本合計	2,802,784	3,563,606
純資産合計	2,802,784	3,563,606
負債純資産合計	3,660,927	4,658,848

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	4,070,609	4,595,720
売上原価	2,481,376	2,655,133
売上総利益	1,589,232	1,940,586
販売費及び一般管理費	503,407	667,755
営業利益	1,085,825	1,272,831
営業外収益		
受取利息	18	31
受取保険金	—	226
助成金収入	2,188	—
その他	29	156
営業外収益合計	2,235	414
営業外費用		
支払利息	157	140
営業外費用合計	157	140
経常利益	1,087,903	1,273,105
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	2,489
特別損失		
有形固定資産除却損	164	2,701
特別損失合計	164	2,701
税引前当期純利益	1,087,739	1,272,893
法人税、住民税及び事業税	350,600	416,016
法人税等調整額	△6,486	△952
法人税等合計	344,114	415,064
当期純利益	743,625	857,828

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 労務費	※1	2,308,015	93.1	2,445,717	92.1
II 経費		170,520	6.9	209,721	7.9
合計		2,478,536	100.0	2,655,438	100.0
期首仕掛品棚卸高		4,486		1,645	
合計		2,483,022		2,657,084	
期末仕掛品棚卸高		1,645		1,950	
当期売上原価		2,481,376		2,655,133	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
賃借料	123,762	128,959
消耗品費	5,154	6,444
旅費交通費	8,103	14,732
通信費	14,291	18,264
減価償却費	26,661	25,323
受注損失引当金繰入額	△21,442	161

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	275,940	275,940	275,940	12,500	1,584,166	1,596,666
当期変動額						
新株の発行	3,307	3,307	3,307			
剰余金の配当					△95,535	△95,535
当期純利益					743,625	743,625
自己株式の取得						
当期変動額合計	3,307	3,307	3,307	—	648,089	648,089
当期末残高	279,248	279,248	279,248	12,500	2,232,256	2,244,756

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△467	2,148,079	2,148,079
当期変動額			
新株の発行		6,615	6,615
剰余金の配当		△95,535	△95,535
当期純利益		743,625	743,625
自己株式の取得			—
当期変動額合計	—	654,704	654,704
当期末残高	△467	2,802,784	2,802,784

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	279,248	279,248	279,248	12,500	2,232,256	2,244,756
当期変動額						
新株の発行	735	735	735			
剰余金の配当					△98,477	△98,477
当期純利益					857,828	857,828
自己株式の取得						
当期変動額合計	735	735	735	—	759,351	759,351
当期末残高	279,983	279,983	279,983	12,500	2,991,608	3,004,108

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△467	2,802,784	2,802,784
当期変動額			
新株の発行		1,470	1,470
剰余金の配当		△98,477	△98,477
当期純利益		857,828	857,828
自己株式の取得			—
当期変動額合計	—	760,821	760,821
当期末残高	△467	3,563,606	3,563,606

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,087,739	1,272,893
減価償却費	31,941	32,982
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,781	3,831
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,553	20,535
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△21,442	161
受取利息	△18	△31
支払利息	157	140
有形固定資産除却損	164	2,701
売上債権の増減額 (△は増加)	△184,676	△212,506
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,840	2,440
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,082	△61
未払金の増減額 (△は減少)	△7,833	△30,963
その他	14,276	34,443
小計	962,401	1,126,567
利息の受取額	18	31
利息の支払額	△159	△141
法人税等の支払額	△444,767	△354,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	517,492	772,202
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,034	△18,362
無形固定資産の取得による支出	△17,200	△68,868
関係会社株式の取得による支出	△237,750	—
差入保証金の差入による支出	—	△4,590
差入保証金の回収による収入	13	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△302,971	△91,822
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	6,615	1,470
自己株式の取得による支出	—	—
リース債務の返済による支出	△12,307	△13,842
配当金の支払額	△95,516	△98,563
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,209	△110,935
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	113,310	569,444
現金及び現金同等物の期首残高	1,888,588	2,001,899
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	87,234
現金及び現金同等物の期末残高	2,001,899	2,658,578

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

(子会社の吸収合併)

当社は、2023年4月10日開催の取締役会において、2023年3月31日付けで株式を取得したWDB臨床研究株式会社を吸収合併することを決議し、2023年6月15日を効力発生日として吸収合併を実施いたしました。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及び事業の内容

名 称：WDB臨床研究株式会社

事業の内容：臨床研究・医師主導治験、製造販売後調査等に関わる、データマネジメント、統計解析、モニタリング、試験事務局の運営、論文、総括報告書の作成、監査

②企業結合日

2023年6月15日

③企業結合の法的形式

当社を存続会社、WDB臨床研究株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

WDBココ株式会社

⑤その他取引の概要に関する事項

製造販売後の段階における医薬品開発のワンストップサービスの提供価値の向上の早期実現のため。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施いたしました。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、CRO事業のみの単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,166.91円	1,481.82円
1株当たり当期純利益	311.24円	356.90円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	309.31円	356.47円

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	743,625	857,828
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	743,625	857,828
普通株式の期中平均株式数(株)	2,389,230	2,403,543
希薄化効果を有しないため、 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の 算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,802,784	3,563,606
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
(うち新株予約権)(千円)	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,802,784	3,563,606
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	2,401,879	2,404,879

(重要な後発事象)

該当事項はありません。